

鹿児島県薩摩半島から得られた イソギンポ科オボロゲタテガミカエルウオ

川間公達¹・伊東正英²・本村浩之³

¹ 〒 890-0056 鹿児島市下荒田 4-50-20 鹿児島大学大学院水産学研究所

² 〒 897-1301 鹿児島県南さつま市笠沙町片浦 718

³ 〒 890-0065 鹿児島市郡元 1-21-30 鹿児島大学総合研究博物館

はじめに

イソギンポ科タテガミカエルウオ属 *Cirripectes* はインド・西太平洋から 23 種が知られている (Williams, 1988, 1993, 2009). 日本国内からは 8 種が知られており (藍澤, 2013), このうちオボロゲタテガミカエルウオ *C. filamentosus* (Alleyne and Macleay, 1877) は, 標本に基づいて屋久島と上甕島からのみ記録されている (村瀬ほか, 2009; 藍澤, 2013; 福井・本村, 2016).

2016 年 10 月 12 日に鹿児島県薩摩半島西岸の笠沙町からオボロゲタテガミカエルウオが 2 個体採集された. 本標本は鹿児島県本土における本種の初めての記録ならびに標本に基づく記録としては日本で 3 例目となるため, ここに報告する.

材料と方法

標本の計数は Smith-Vaniz and Springer (1971) およびそれを改変した Williams (1988) に, 計測は村瀬ほか (2009) にしたがった. 標準体長は体長と表記し, 計測はデジタルノギスを用いて 0.1 mm までおこなった. 色彩の記載には, 固定前に撮影された薩摩半島西岸笠沙町産の 1 個体 (KAUM-I. 97587) に基づく. 標本の作成, 登録, 撮影, および固定方法は本村 (2009) に基づく. 本報告に

用いた標本は鹿児島大学総合研究博物館 (KAUM) に保管されており, 上記の生鮮時の画像は同館のデータベースに登録されている.

結果と考察

Cirripectes filamentosus (Alleyne and Macleay, 1877)
オボロゲタテガミカエルウオ (Fig. 1; Table 1)

標本 2 個体 (体長 26.7–42.5 mm): KAUM-I. 97587, 体長 42.5 mm, KAUM-I. 97588, 体長 26.7 mm, 鹿児島県南さつま市笠沙町大当漁港外 (31°25'19"N, 130°10'17"E), 水深 3 m, 2016 年 10 月 12 日, 手網, 伊東正英.

記載 計測値と体各部の体長に対する割合を Table 1 に示した. 体は前後方向にやや長い楕円形を呈し, 後方に向かうにしたがい側扁する. 体背縁は吻から眼にかけて急激に上昇し, その後背鰭起部にかけて緩やかに上昇し, そこから極めて緩やかに下降する. 体腹縁は吻から肛門前方にかけては緩やかに下降し, 肛門後方から尾鰭基底にかけて緩やかに上昇する. 頭部の輪郭は丸みを帯びる. 胸鰭基底上端は鰓膜後端直後に位置する. 胸鰭は円形を呈し, たたんだ後端は背鰭第 12 棘基下方に位置する. 腹鰭起部は背鰭起部直下よりも前方に位置する. 背鰭起部は鰓膜後端直上に位置する. 背鰭背縁は第 1 棘を最高点とし後方に向かうにしたがい徐々に低くなり, 最終棘直後の鰭膜は切れ込む. 第 1 軟条後端において再び高さを増す. その後, 尾部にかけてなだらかに下降する. 背鰭軟条は分枝しない. 背鰭最後軟条は鰭膜で尾鰭と連続する. 臀鰭起部は背鰭第 11 棘下方

Kawama, K., M. Itou and H. Motomura. 2017. First records of *Cirripectes filamentosus* (Perciformes: Blennidae) from the mainland of Kagoshima, southern Japan. *Nature of Kagoshima* 43: 219–222.

✉ HM: the Kagoshima University Museum, 1-21-30 Korimoto, Kagoshima 890-0065, Japan (e-mail: motomura@kaum.kagoshima-u.ac.jp).



Fig. 1. Fresh specimen of *Cirripectes filamentosus*. KAUM-I. 97587, 42.5 mm standard length, Kasasa, Minami-satsuma, Kagoshima, southern Japan.

に位置する。臀鰭第1棘は皮下に埋没し、上半部のみ露出する。臀鰭最後軟条は尾鰭と鰭膜で連続しない。尾鰭は截形を呈し、後縁中央部は後方に膨出する。上顎は下顎よりも前方に突出し、その後端は眼の後端よりも僅かに後ろに位置する。頂部皮弁は上半部と下半部に分かれる。上半部の皮弁は間隔を開けて互いに近接する。下半部のものは基底で連続する。頭部感覚管の開孔は単純。前鰓蓋管は最上部で3孔、その直下で2孔がそれぞれ開孔し、それよりも下方では3孔が背腹方向に1列に並ぶ。吻背面中央の開孔は左右1対。眼隔域の余分な開孔はない。下部頂部皮弁後方の開孔は2孔。側線は鰓蓋上端から始まり、背鰭第10-11棘起部間下方で大きく下方に湾曲し、背鰭第2-3軟条起部間下方で終わる。

色彩 生鮮時の色彩 — 体背面は緑がかった褐色で上部ほど暗い。体腹部は灰白色。頬部は煤色。吻から鰓蓋後端にかけての頭部側面には朱色の斑点が散在し、眼の後方では斜線を形成する。項部から背鰭第4軟条起部直下までの体側背面には頭部側面のものよりも暗い色調の赤色斑点が散在する。頂部皮弁基部は藍色、分枝した先は黒色。眼上皮弁、鼻皮弁はともに緑褐色で、上半部は赤み

がかかる。胸鰭上半部の軟条は緑がかった褐色で、下半部の軟条は橙色。胸鰭鰭膜は半透明。腹鰭は白色。背鰭棘の上半部は橙色を呈し、下半部は緑褐色。背鰭軟条は半透明で上半部は橙色を帯び、下半部は緑褐色。背鰭鰭膜は半透明で灰褐色。臀鰭は全体に淡い灰褐色を呈し、基底部と縁辺付近には体腹縁に沿う赤褐色の縦帯がある。尾柄部は明るい黄色。尾鰭鰭条は全体に黄色みがかかる。尾鰭鰭膜は半透明で、中央部は赤みがかかる。

固定後の色彩 — 体は全体的に暗いこげ茶色になる。頭部の小斑点は淡くなる。尾鰭の黄色は消失し、淡いねずみ色になる。背鰭、臀鰭は全体的に尾鰭よりもやや濃いねずみ色で、背鰭棘部前部は明るい白の半透明。胸鰭は青みがかった灰色。腹鰭は濃い灰色。

分布 本種はマダガスカル北部から紅海南部、ペルシャ湾沿岸、アンダマン海、オーストラリア西岸、日本、台湾、およびソロモン諸島にかけてのインド・西太平洋に広く分布する (Williams, 1988; 村瀬ほか, 2009)。日本国内では和歌山県串本 (加藤, 2014)、鹿児島県甌島列島上甌島 (福井・本村, 2015)、および大隅諸島屋久島 (村瀬ほか, 2009) からのみ報告されている。

備考 記載標本は背鰭軟条数 14, 臀鰭軟条数 15, 頂部皮弁が上下に分かれ, 下部の皮弁が基底で連続すること, 頭部感覚孔の開孔が同属他種と比較し単純であること, 頂部皮弁後方の開孔が 2 孔であること, 側線最後の開孔が背鰭第 2-3 軟条起部間下方に位置すること, 鮮時において吻から鰓蓋後端にかけて朱色の斑点があることが Williams (1988) と村瀬ほか (2009) の示す *Cirripectes filamentosus* の標徴によく一致したため, 本種と同定された.

笠沙産の標本から得られた計数・計測値は, 村瀬ほか (2009) や福井ほか (2016) が記載した標本のものと同一致した.

本報告に用いた笠沙町産の体長 26.7 mm の個体では背鰭第 1 棘長が第 2 棘長の 1.0 倍, 42.5 mm の個体では 1.12 倍であった. 福井・本村 (2016) が報告した甌島産の体長 30.5 mm の標本では 0.98

倍, 村瀬ほか (2009) が報告した屋久島産の体長 52.5 mm の標本では 1.13 倍であったことから, 福井・本村 (2016) が指摘したように背鰭第 1 棘は成長に伴い伸長するものであると考えられる.

村瀬ほか (2009) は鹿児島県大隅諸島屋久島から得られた 1 個体 (KAUM-I. 11586, 体長 52.5 mm) に基づき *C. filamentosus* を日本から初めて報告すると同時に標準和名オボロゲタテガミカエルウオを提唱した. その後, 加藤 (2014) が水中写真に基づき和歌山県串本から本種を報告した. 福井・本村 (2016) は鹿児島県上甌島から得られた 1 個体 (KAUM-I. 80314, 30.5 mm SL) の標本に基づき本種を報告した. したがって, 本報告は本種の日本国内からの 4 例目の報告 (標本に基づく記録としては 3 例目) となるとともに鹿児島県本土からの初記録となる.

Table 1. Counts and proportional measurements (as % of standard length) of specimens of *Cirripectes filamentosus* from Kasasa, west coast of Satsuma Peninsula, Kagoshima, Japan.

	<i>Cirripectes filamentosus</i>	
	KAUM-I. 97587	KAUM-I. 97588
Standard length (SL, mm)	42.5	26.7
Counts		
Dorsal-fin rays	XII, 14	XII, 15
Anal-fin rays	II, 14	II, 15
Pectoral-fin rays (left / right)	15 / 15	15 / 16
Nuchal cirri (upper + lower)	6 + 9	6 + 6
Measurement (% of SL)		
Total length	125.6	125.8
Head length	29.9	30.3
Pre-dorsal-fin length	30.4	32.6
Pre-anus length	49.6	53.2
Body depth	30.6	27.3
Caudal-peduncle depth	12.0	12.0
Caudal-peduncle length	10.1	10.1
Dorsal-fin base length	76.0	74.5
Anal-fin base length	41.2	36.7
Snout length	10.6	9.4
Interorbital width	1.9	1.5
Orbit diameter	8.7	11.2
1st dorsal-fin spine length	21.6	17.2
2nd dorsal-fin spine length	19.3	17.2
3rd dorsal-fin spine length	17.2	17.2
12th dorsal-fin spine length	8.9	7.1
1st anal-fin soft ray length	10.6	10.1
Pectoral-fin length	27.5	20.2
Pelvic-fin length	16.2	18.4

■ 謝辞

本報告を取りまとめるにあたり、鹿児島大学総合研究博物館ボランティアと同博物館魚類分類学研究室の皆さまには適切な助言を頂いた。本研究は、鹿児島大学総合研究博物館の「鹿児島県産魚類の多様性調査プロジェクト」の一環として行われた。本研究の一部はJSPS 科研費（19770067, 23580259, 24370041, 26241027, 26450265）、JSPS 研究拠点形成事業－アジア・アフリカ学術基盤形成型－「東南アジア沿岸生態系の研究教育ネットワーク」、国立科学博物館「日本の生物多様性ホットスポットの構造に関する研究プロジェクト」、文部科学省特別経費－地域貢献機能の充実－「薩南諸島の生物多様性とその保全に関する教育研究拠点整備」、および鹿児島大学重点領域研究環境（生物多様性プロジェクト）学長裁量経費「奄美群島における生態系保全研究の推進」の援助を受けた。

■ 引用文献

- 藍澤正宏・土居内龍. 2013. イソギンボ科. Pp. 1295–1324, 2101–2102. 中坊徹次（編）. 日本産魚類検索 全種の同定, 第三版. 東海大学出版会, 秦野.
- 福井美乃・本村浩之. 2016. 甌島列島から得られた国内2例目となるイソギンボ科オボロゲタガミカエルウオ. *Nature of Kagoshima*, 42: 311–314.
- 加藤昌一. 2014. ネイチャーウォッチングガイドブック 海水魚～ひと目で特徴がわかる図解付き～. 誠文堂新光社, 東京. 383 pp.
- 本村浩之. 2009. 魚類標本の作製と管理マニュアル. 鹿児島大学総合研究博物館, 鹿児島. 70 pp.
- 村瀬敦宣・目黒昌利・本村浩之. 2009. 屋久島で採集された日本初記録のイソギンボ科魚類オボロゲタガミカエルウオ（新称）*Cirripectes filamentosus*. *魚類学雑誌*, 56 (2): 145–148.
- Smith-Vaniz, W. F. and Springer, V. G. 1971. Synopsis of the tribe Salariaiini, with description of five new genera and three new species (Pisces: Blenniidae). *Smithsonian Contributions to Zoology*, 73: 14–72.
- Williams, J. T. 1988. Revision and phylogenetic relationships of the blennid fish genus *Cirripectes*. *Indo-Pacific Fishes*, 17: 1–78.